

大学番号：023

[平成28年度設置]

意見伺い（JD）

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科
東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻（博士課程）

注2

【意見伺い（JD）】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 東京医科歯科大学
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長企画室

職名・氏名 係長 ^{キリシマ}霧島 ^{ヒトミ}眸

電話番号 03-5803-4199

（夜間） 03-5803-4199

F A X 03-5803-0273

e-mail houki.adm@tmd.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（国際連携学科）」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科（国際連携学科）」
- 大学院の研究科の専攻の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（国際連携学科）」

目次

医歯学総合研究科

<東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻（博士課程）>

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	11
6. 留意事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	27

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 東京医科歯科大学

【連携外国大学の設置者】チリ共和国チリ大学

(2) 大学名

東京医科歯科大学大学院

【連携外国大学の名称】

University of Chile (Universidad de Chile)

(注) ・連携外国大学が置かれている国で用いられている言語による名称を () 書きで記入してください。

(3) 大学の位置

〒113-8510

東京都文京区湯島1-5-45

【連携外国大学の本部の位置】

Av. Libertador Bernardo O'Higgins 1058, Santiago de Chile

(注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ヨシザワ ヤスキ) 吉澤 靖之 (平成26年4月)		
研究科長	(エイ シノブ) 江石 義信 (平成28年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医歯学総合研究科 東京医科歯科大学・ チリ大学国際連携医学系専攻 (博士課程) 博士(医学)	5年	3人 <322>	15人 <1044>	

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ < >内の数字は, 母体となる研究科等の全体の入学定員を記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	4月入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員		3 (-) [-]										0.33倍	[]内には, チリ大学で入学手続きを行った外国籍の学生数を記載。なお, 当該学生は, 3年次以降、特別研究の進捗状況等に応じて、ビザを取得した後、日本に来日する。
志願者数		1 (-) [1]	- (-) [-]										
受験者数		1 (-) [1]	- (-) [-]										
合格者数		1 (-) [1]	- (-) [-]										
B 入学者数		1 (-) [1]	- (-) [-]										
入学定員超過率 B/A		0.33											

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ 様式は, 平成28年4月開設の場合の様式です。「春季入学」、「その他の学期」については, 各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。
 (例) 「春季入学」→「4月入学」, 「10月入学」等
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記。
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	4月入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 1	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[]内には、チリ大学で入学手続きを行った外国籍の学生数を記載。なお、当該学生は、3年次以降、特別研究の進捗状況等に応じて、ビザを取得した後、日本に来日する。
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[1] (-) 1	[] ()			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 様式は、平成28年4月開設の場合の様式です。「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。
 - (例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	1 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	人	平成32年度	人	人		%
合計	1 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医歯学総合研究科 東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年度	開設大学	単位数			教員等の配置										備考								
					必修	選択	自由	申請大学					連携外国大学													
								教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員		助手に相当する教員	小計						
一般教養科目	癌のゲノムとバイオ情報工学		1前・後・2前	チリ大学		3																				
	英語での科学論文ディスカッション		1前・後・2前	チリ大学		3												1								
	学術英語における文法及び記述コミュニケーションスキル		1前・後・2前	チリ大学		3														4			「英語での科学論文ディスカッション」と統合したため(28)			
	生物統計学		1前・後・2前	チリ大学		3																				
	生体医学研究の倫理		1前・後・2前	チリ大学		3																				
	初期研究研修		1前	東京医科歯科大学		1																		兼 4 メディア・集中		
共通科目群	細胞生理学		1前・後・2前	チリ大学		5																				
	癌に関わる細胞及び分子生物学		1前・後・2前	チリ大学		4																				
	システム生理学		1前・後・2前	チリ大学		5																				
	免疫学入門		1前・後・2前	チリ大学		4																				
	基礎薬理学		1前・後・2前	チリ大学		4																				
	分子生物学		1前・後・2前	チリ大学		4																				
	臨床研究の方法論の基礎		1前・後・2前	チリ大学		3																				
	バイオフィーマティクス		1前・後・2前	東京医科歯科大学		2												2							兼 5 メディア・他ニパス	
応用科目	細胞・分子生物学上級		1前・後・2前	チリ大学		3																				
	器官系統特殊生理病理学		1前・後・2前	チリ大学		5																				
	細胞分子免疫学		1前・後・2前	チリ大学		5																				
	遺伝医学		1前・後・2前	チリ大学		5																				
	人類生化学		1前・後・2前	チリ大学		5																				
	生体医学における細胞シグナル伝達		1前・後・2前	チリ大学		3																				
	診断・臨床研究への応用分子生物学		1前・後・2前	チリ大学		3																				
	疫学		1前・後・2前	チリ大学		3																				
	機能分子化学		1前・後・2前	東京医科歯科大学		2													3				1		6	メディア・他ニパス
	疾患予防パブリックヘルス医学概論		1前・後・2前	東京医科歯科大学		2													4				2		7	メディア・他ニパス
研究演習	基礎研究演習		1前・後・2前	チリ大学		10																				
	臨床研究演習		1前・後・2前	チリ大学		10																				
ナール	文献ゼミ		1前・後・2前	チリ大学		2																				
上部消化管外科	上部消化管外科臨床基礎(チリ大学)		1後~2	チリ大学		20																				
	上部消化管外科臨床応用(チリ大学)		3~5	チリ大学		27																				
	上部消化管外科臨床基礎(東京医科歯科大学)		3~4	東京医科歯科大学		20			1	1	1	4														
	上部消化管外科臨床応用I(東京医科歯科大学)		4~5	東京医科歯科大学		35			1	1	1	4														
	上部消化管外科臨床応用II(東京医科歯科大学)		3・4・5	東京医科歯科大学		8			1	1	1	4														

専門科目群	大腸肛門外科臨床基礎 (チリ大学)	1後~2	チリ大学	20							2	2		2		6
	大腸肛門外科臨床応用 (チリ大学)	3~5	チリ大学	27							2	2		2		6
	大腸肛門外科臨床基礎 (東京医科歯科大学)	3~4	東京医科歯科大学	20	1	2	1	2		6						
	大腸肛門外科臨床応用Ⅰ (東京医科歯科大学)	4~5	東京医科歯科大学	35	1	2	1	2		6						
	大腸肛門外科臨床応用Ⅱ (東京医科歯科大学)	3・4・5	東京医科歯科大学	8	1	2	1	2		6						
胃腸病内科	胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学)	1後~2	チリ大学	20							2	2		1		5
	胃腸病内科臨床応用 (チリ大学)	3~5	チリ大学	27							2	2		1		5
	胃腸病内科臨床基礎 (東京医科歯科大学)	3~4	東京医科歯科大学	20	3	2				5						
	胃腸病内科臨床応用Ⅰ (東京医科歯科大学)	4~5	東京医科歯科大学	35	3	2				5						
	胃腸病内科臨床応用Ⅱ (東京医科歯科大学)	3・4・5	東京医科歯科大学	8	3	2				5						
特別研究	特別研究 (チリ大学)	3~5	チリ大学	40							8	7		4		19
	特別研究 (東京医科歯科大学)	3~5	東京医科歯科大学	40	29	12	9	10		60						メディア メディア

- (注) ・ 設置計画書様式第2号(その2の2)又は「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。
 また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
東京医科歯科大学	2	12	0	14	2 [0]	12 [0]	0 [0]	14 [0]	
チリ大学	4	26	0	30	4 [0]	25 [△1]	0 [0]	29 [△1]	
共同開設科目	0	0	0	0	0 []	0 []	0 []	0 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
			該当なし				

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	チリ大学	学術英語における文法及び記述コミュニケーションスキル	3	1年前・後・2前	一般	選択	「英語での科学論文ディスカッション」と統合したため(28)

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

習得単位数が多いことから、授業内容が類似している「学術英語における文法及び記述コミュニケーションスキル」を「英語での科学論文ディスカッション」へ統合することとした。指導教員を通じて学生へ十分に説明を行うとともに、選択科目であるため学生及び専攻の運営に支障はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	1	=	
設置時の計画の授業科目数の計	44		0.02

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	77,695 m ²	0m ²	0m ²	77,695 m ²			
	運動場用地	19,972 m ²	0m ²	0m ²	19,972 m ²			
	小 計	97,667 m ²	0m ²	0m ²	97,667 m ²			
	そ の 他	13,929 m ²	0m ²	0m ²	13,929 m ²			
	合 計	111,596 m ²	0m ²	0m ²	111,596 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	125,398 m ² (125,398 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	125,398 m ² (125,398 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	申請大学全体		
	83室	52室	556室	2室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻			17 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	専攻単位での特定不能 なため、申請大学全体 の数 図書及び学術雑誌は増 加させている(H28)
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻	316,761 [141,484] 218,617 [123,767] (316,761 [141,484]) (218,617 [123,767])	3,761 [2,098] 3,490 [1,974] (3,761 [2,098]) (3,490 [1,974])	8,792 [7,732] 8,809 [7,778] (8,792 [7,732]) (8,809 [7,778])	336 (336)	497 (497)	55,862 (55,862)	
	計	316,761 [141,484] 218,617 [123,767] (316,761 [141,484]) (218,617 [123,767])	3,761 [2,098] 3,490 [1,974] (3,761 [2,098]) (3,490 [1,974])	8,792 [7,732] 8,809 [7,778] (8,792 [7,732]) (8,809 [7,778])	336 (336)	497 (497)	55,862 (55,862)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		申請大学全体	
	5,513 m ²		433 席		377,000 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,662 m ²		柔 剣 道 場 、 武 道 館 弓 道 場 、 プ ール					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	- 千円	- 千円	図書購入費	- 千円	- 千円	- 千円
	共 同 研 究 費 等	- 千円	- 千円	設備購入費	- 千円	- 千円	- 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			該当無し					

(注) ・ 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

※国際連携学科等に係る申請大学の状況を記載し、連携外国大学の状況は含めないでください。

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ (5)図書・設備については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京医科歯科大学大学院							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
医歯学総合研究科 (修士課程) 医歯理工学専攻	2	110	—	215	修士(医科学) (歯科学) (理学) (工学) (口腔保健学) (医療管理学) (医療政策学)	1.04	H24年度	東京都文京区湯島1-5-45	
(博士課程)									
医歯学系専攻	4	181	—	724	博士(医学) (歯学) (学術)	1.23	H24年度		
生命理工学系専攻	3	25	—	75	博士(理学) (工学)	0.60	H24年度		
口腔機能再構築学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度		平成24年度より学生募集停止
顎顔面顎部機能再建学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H11年度		平成24年度より学生募集停止
生体支持組織学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度		平成24年度より学生募集停止
環境社会医歯学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度		平成24年度より学生募集停止
老化制御学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度		平成24年度より学生募集停止
全人的医療開発学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H11年度		平成24年度より学生募集停止
認知行動医学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H11年度		平成24年度より学生募集停止
生体環境応答学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度		平成24年度より学生募集停止
器官システム制御学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度		平成24年度より学生募集停止
先端医療開発学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度		平成24年度より学生募集停止
東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻	5	3	—	15	博士(医学)	0.33	H28年度		
保健衛生学研究科 (博士課程(前期)) 総合保健看護学専攻	2	—	—	—	修士(看護学) (保健学)	—	H13年度	東京都文京区湯島1-5-45	平成26年度より学生募集停止
生体検査科学専攻	2	12	—	24	修士(看護学) (保健学)	1.20	H13年度		
(博士課程(後期)) 総合保健看護学専攻	3	—	—	—	博士(看護学) (保健学)	—	H13年度		平成28年度より学生募集停止
生体検査科学専攻	3	6	—	18	博士(看護学) (保健学)	1.16	H13年度		
(博士課程) 看護先進科学専攻	5	13	—	26	博士(看護学)	1.09	H26年度		
共同災害看護学専攻	5	2	—	4	博士(看護学)	1.16	H26年度		

大学の名称	東京医科歯科大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
医学部			2年次					東京都文京区湯 島1-5-45
医学科	6	101	5	623	学士(医学)	1.01	S26年度	
保健衛生学科	4	90		360	学士(看護学)、 学士(保健学)	1.00	H元年度	
歯学部			2年次					
歯学科	6	53		320	学士(歯学)	1.00	S26年度	
口腔保健学科	4	32	3年次 6	155	学士(口腔保健 学)	1.06	H16年度	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医歯学総合研究科 東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻>

(注) ・ 本様式は、申請大学の教員と連携外国語大学の教員は別葉で作成してください。

(1) 担当教員表 (東京医科歯科大学)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	北川 昌伸 (59)	平成28年4月	疾患予防パブリックヘルスマ学概論 胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用Ⅰ 胃腸病内科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	植竹 宏之 (52)	平成28年4月	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ 胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用Ⅰ 胃腸病内科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	植竹 宏之 (52)	平成28年4月	初期研究研修 大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ 胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用Ⅰ 胃腸病内科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	担当科目追加のため(28)
専	教授	塙 隆夫 (58)	平成28年4月	初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	植竹 宏之 (52)	平成28年4月	初期研究研修	担当者変更のため(28)
専	教授	仁科 博史 (54)	平成28年4月	初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	田賀 哲也 (56)	平成28年4月	初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	木下 淳博 (53)	平成28年4月	初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	田中 敏博 (50)	平成28年4月	バイオフィーマティクス 特別研究(東京医科歯科大学) 初期研究研修						
専	教授	石川 俊平 (40)	平成28年4月	バイオフィーマティクス 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	玉村 啓和 (51)	平成28年4月	機能分子化学 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	影近 弘之 (55)	平成28年4月	機能分子化学 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	教授	細谷 孝充 (49)	平成28年4月	機能分子化学 特別研究(東京医科歯科大学)						

専	教授	山岡 昇司 (58)	平成28年4月	初期研究研修 疾患予防パブリックヘルス 医学概論 特別研究(東京医科歯科大学)							
専	教授	高田 和生 (46)	平成28年4月	疾患予防パブリックヘルス 医学概論 特別研究(東京医科歯科大学)							
専	教授	吉田 雅幸 (53)	平成28年4月	初期研究研修 疾患予防パブリックヘルス 医学概論 特別研究(東京医科歯科大学)							
専	教授	中田 隆夫 (53)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)							
専	教授	畑 裕 (59)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)							
専	教授	上村 公一 (57)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)							
専	教授	河原 和夫 (59)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)							
専	教授	高瀬 浩造 (60)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)							
専	教授	伏見 清秀 (55)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)							
専	教授	寺田 純雄 (51)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)							
専	教授	杉原 泉 (57)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学) 初期研究研修							
専	教授	田邊 勉 (60)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)							
専	教授	竹田 秀 (48)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)							
専	教授	秋田 恵一 (53)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)							
専	教授	田中 真二 (53)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)							
専	教授	立石 宇貴秀 (47)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)							
専	教授	浅原 弘嗣 (47)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)							

専	教授	小嶋 一幸 (53)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用Ⅰ 上部消化管外科臨床応用Ⅱ 胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用Ⅰ 胃腸病内科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	准教授	中島 康晃 (47)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用Ⅰ 上部消化管外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	准教授	野村 涉 (38)	平成28年4月	機能分子化学 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	准教授	平野 智也 (41)	平成28年4月	機能分子化学 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	准教授	荒木 昭博 (53)	平成28年4月	胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用Ⅰ 胃腸病内科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	准教授	原 正幸 (58)	平成28年4月	初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)	兼任	教授	金井 正美 (54)	平成28年4月	初期研究研修	担当者変更のため(28)
					専	准教授	原 正幸 (59)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	
専	准教授	中村 桂子 (56)	平成28年4月	疾患予防パブリックヘルス 医学概論 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	准教授	井上 明宏 (51)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	専	講師	山口 久美子 (40)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	平成28年3月に他大学への転出のため、担当者変更(28)
専	准教授	増田 貴夫 (54)	平成28年4月	初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	植竹 宏之 (52)	平成28年4月	初期研究研修	担当者変更のため(28)
					専	准教授	増田 貴夫 (54)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	
専	准教授	杉内 友理子 (54)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	准教授	小林 宏寿 (47)	平成28年4月	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	専	准教授	安野 正道 (56)	平成28年4月	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)	平成27年6月に他機関への転出のため、担当者変更(28)
専	准教授	石黒 めぐみ (42)	平成28年4月	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						

専	准教授	長堀 正和 (49)	平成28年4月	胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用Ⅰ 胃腸病内科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	講師	木津喜 雅 (38)	平成28年4月	疾患予防パブリックヘルス 医学概論 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	講師	清野 薫子 (37)	平成28年4月	疾患予防パブリックヘルス 医学概論 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	講師	岡田 随象 (35)	平成28年4月	バイオフィーマティクス 特別研究(東京医科歯科大学)	兼任	非常勤講師	岡田 随象 (35)	平成28年4月	バイオフィーマティクス	平成28年3月に他大学へ転出し、非常勤講師として継続勤務。なお、特別研究は担当者を変更(28)
					専	教授	立石 宇貴秀 (47)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	
専	講師	浦山 ケビン (38)	平成28年4月	バイオフィーマティクス 特別研究(東京医科歯科大学)	兼任	非常勤講師	浦山 ケビン (38)	平成28年4月	バイオフィーマティクス	平成27年12月に他大学へ転出し、非常勤講師として継続勤務。なお、特別研究は担当者を変更(28)
					専	教授	吉村 亮一 (45)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)	
専	講師	井ノ口 幹人 (47)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用Ⅰ 上部消化管外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	講師	二村 昭元 (41)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	講師	秋山 好光 (49)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	講師	篠原 正浩 (43)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	講師	石川 敏昭 (47)	平成28年4月	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用Ⅰ 大腸肛門外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						
専(調)	助教	小田柿 智之 (37)	平成28年4月							
専	助教	山本 浩平 (37)	平成28年4月	特別研究(東京医科歯科大学)						
専	助教	川田 研郎 (44)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用Ⅰ 上部消化管外科臨床応用Ⅱ 特別研究(東京医科歯科大学)						

専	助教	東海林 裕 (45)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 II 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	助教	大槻 将 (40)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 II 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	助教	菊池 章史 (38)	平成28年4月	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 II 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	助教	山内 慎一 (38)	平成28年4月	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 II 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	助教	鈴木 仁美 (35)	平成28年4月	初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	助教	谷本 幸介 (36)	平成28年4月	バイオフィーマティクス 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	助教	森 修一 (37)	平成28年4月	機能分子化学 特別研究(東京医科歯科大学)						
専	助教	宮脇 豊 (39)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 II 特別研究(東京医科歯科大学)	専	助教	岡田 卓也 (36)	平成28年4月	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 II 特別研究(東京医科歯科大学)	平成27年3月に自己都合により退職のため、担当者変更(28)
兼任	教授	井関 祥子 (51)	平成28年4月	初期研究研修	専	教授	植竹 宏之 (52)	平成28年4月	初期研究研修	担当者変更のため(28)
兼任	准教授	笠間 健嗣 (65)	平成28年4月	初期研究研修	専	准教授	安野 正道 (56)	平成28年4月	初期研究研修	担当者変更のため(28)
兼任	准教授	Cannell David Richard (44)	平成28年4月	初期研究研修	兼任	教授	烏山 一 (62)	平成28年4月	初期研究研修	担当者変更のため(28)
兼任	非常勤講師	寺岡 弘文 (71)	平成28年4月	初期研究研修						
兼任	非常勤講師	重水 大智 (36)	平成28年4月	バイオフィーマティクス						
兼任	非常勤講師	藤本 明洋 (26)	平成28年4月	バイオフィーマティクス						

兼任	非常勤講師	佐藤 健吾 (42)	平成28年4月	バイオイン フォマティク ス						
兼任	非常勤講師	田中 紀子 (39)	平成28年4月	バイオイン フォマティク ス						
兼任	非常勤講師	武田 浩一 (56)	平成28年4月	バイオイン フォマティク ス						

(注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。

・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 担当教員表(チリ大学)

専任等区分	設置時の計画			変更状況			備考
	職名	氏名	担当授業科目名	専任等区分	職名	氏名	
外国	教授相当	Andrew Quest	細胞・分子生物学上級基礎研究演習 生体医科学における細胞シグナル伝達 胃腸病内科臨床基礎(チリ大学) 胃腸病内科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)				
外国	教授相当	Andrés Couve	細胞生理学				
外国	教授相当	Enrique Castellón	癌に関わる細胞及び分子生物学 上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)				
外国	教授相当	Lucía Cifuentes	遺伝医学				
外国	教授相当	Ramón Rodrigo	器官系統特殊生理病理学				
外国	教授相当	Luis Videla	人類生化学				
外国	教授相当	Virginia Fernandez	人類生化学				
外国	教授相当	Sergio Lavandero	生体医科学における細胞シグナル伝達 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)				
外国	教授相当	Lisette Leyton	英語での科学論文ディスカッション				
外国	教授相当	Mario Uribe	文献ゼミナール 上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)				
外国	教授相当	Carlos Castillo	臨床研究の方法論の基礎 臨床研究演習				
外国	教授相当	Carlos Carvajal	文献ゼミナール 上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)				
外国	教授相当	Jaime Poniachik	文献ゼミナール 胃腸病内科臨床基礎(チリ大学) 胃腸病内科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)				

外国	教授相当	Javier Brahm	文献ゼミナール 胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学) 胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	准教授相当	Mercedes Lopez	免疫学入門					
外国	准教授相当	Gabriela Diaz	基礎薬理学					
外国	准教授相当	Mauricio Farfán	臨床研究の方法論の基礎 診断・臨床研究への応用分子生物学 臨床研究演習 上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	准教授相当	Juan Pablo Torres	診断・臨床研究への応用分子生物学 臨床研究の方法論の基礎 臨床研究演習 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	准教授相当	Paulina Pino	疫学 基礎研究演習					
外国	准教授相当	Mariana Rojas	生体医科学研究の倫理					
外国	准教授相当	Patricio Burdiles	臨床研究の方法論の基礎 文献ゼミナール 上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	准教授相当	Fernando Maluenda	文献ゼミナール 上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	准教授相当	María Isabel Jirón	文献ゼミナール 胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学) 胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	准教授相当	E Wainstein	文献ゼミナール 大腸肛門外科臨床基礎 (チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	准教授相当	Sergio Villanueva	システム生理学 胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学) 胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	准教授相当	Ana Maria Avalos	学術英語における文法及び記述コミュニケーションスキル	外国	教授相当	Lisette Leyton	英語での科学論文ディスカッション	「学術英語における文法及び記述コミュニケーションスキル」を「英語での科学論文ディスカッション」へ統合したため(28)
外国	助教相当	Vicente Torres	細胞・分子生物学上級 基礎研究演習					
外国	助教相当	Katherine Marcelain	癌のゲノムとバイオ情報工学 基礎研究演習					

外国	助教相当	Ricardo Verdugo	癌のゲノムとバイオ情報工学 基礎研究演習					
外国	助教相当	Diego Catalán	細胞分子免疫学					
外国	助教相当	Leonor Bustamante	遺伝医学					
外国	助教相当	Juan Carlos Salazar	分子微生物学					
外国	助教相当	Rodrigo Assar	生物統計学 基礎研究演習					
外国	助教相当	Mauricio Suárez	生体医科学研究の倫理					
外国	助教相当	Erwin Buckel	文献ゼミナール 上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	助教相当	Francisco López	文献ゼミナール 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	助教相当	Ernesto Melkonian	文献ゼミナール 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					
外国	助教相当	Rodrigo Quera	文献ゼミナール 胃腸病内科臨床基礎(チリ大学) 胃腸病内科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)					

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
29	12	9	11	61	31	11	8	11	61	31	11	8	11	61
(31)	(11)	(8)	(11)	(61)						[2]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
50	10	0			50	10	0			50	10	0		
(50)	(10)	0								[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	准教授	井上 明宏	必修	特別研究(東京医科歯科大学)	①	他大学への転出のため(28)	
2	准教授	小林 宏寿	選択	大腸肛門外科臨床基礎	①	他機関への転出のため(28)	
			選択	大腸肛門外科臨床応用Ⅰ	①		
			選択	大腸肛門外科臨床応用Ⅱ	①		
			必修	特別研究(東京医科歯科大学)	①		
3	講師	岡田 随象	選択	バイオインフォマティクス	②	他大学への転出のため(28)	
			必修	特別研究(東京医科歯科大学)	①		
4	講師	浦山 ケビン	選択	バイオインフォマティクス	②	他大学への転出のため(28)	
			必修	特別研究(東京医科歯科大学)	①		
5	助教	宮脇 豊	選択	上部消化管外科臨床基礎	①	自己都合のため退職(28)	
			選択	上部消化管外科臨床応用Ⅰ	①		
			選択	上部消化管外科臨床応用Ⅱ	①		
			必修	特別研究(東京医科歯科大学)	①		
合計(A)				後任補充状況の集計(B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)	
5	人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	6 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	11 科目	計	2 科目

(注) ・ 就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置計画時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入ください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
						該当なし
合計(C)				後任補充状況の集計(D)		
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目

(注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)-① ・ (3)-② の合計

合計(A)+(C)			後任補充状況の集計(B)+(D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
5 人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	8 科目	選択	6 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	13 科目	計	11 科目	計	2 科目	計	0 科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員(同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員研究指導教員等)が兼ねて担当する場合も含める)について記入してください。

就任辞退をした教員が担当していた科目については、不足なく後任補充を行った。また、指導教員を通じて学生へは履修に支障がない旨、十分に説明を行った。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (平成28年4月)	1. 修了要件191単位は、連携外国大学が求めている一般的な修了要件と比べてもかなり多い修了要件単位数となっているが、本専攻の教育研究目的や人材養成像やそれらを踏まえたカリキュラムポリシーに照らして、当該単位数を履修・修得する必要性を学生に対して丁寧に説明すること。	留意事項	1. 学生への説明については、面接試験で学生に丁寧に説明し意志を確認するとともに、入学後、履修要項で詳細に説明した。また、修了要件単位数が一般的な単位数と比べて多い理由として、講義に加えて行う臨床研修の単位数が多くなっていることが挙げられる。(28)	
	2. 研究指導に係る連携外国大学との責任や役割分担について、東京医科歯科大学側についてはある程度明確にされているが、チリ大学側の内容は不明確であるため、双方の役割分担等を更に明確にし、研究指導に支障が生じないように準備に万全を期すこと。	留意事項	2. 東京医科歯科大学、チリ大学及びクリニカ・ラス・コンデス（病院）から各3名の教員で構成する学術委員会を設置した。（添付学術委員会名簿参照）(28)	2. 学生の研究等が本格的に始まる2年次後期までに次の点について学術委員会にて検討する。 ①学術委員会が学生の研究指導の方針について責任を持って指導する。 ②指導体制、プログラム運営の責任及び役割分担を明確化する。(28)
	3. 入学資格に国籍を制限していないにもかかわらず、研究指導や履修指導等において国籍を基準として区別する方法は不適切である。入学時の窓口で区別するか、医師資格の国で区別するなど、適切な方法で区別するよう改めること。	留意事項	3. 本件については設置認可申請書を修正し申請したため、対応済みである。 （修正前）原則、チリ人学生の場合はチリ大学の教員が主担当となり、日本人学生の場合は東京医科歯科大学の教員が主担当を務める。 （修正後）原則、チリ国医師資格を持つ学生の場合はチリ大学の教員が主担当となり、日本国医師資格を持つ学生の場合は東京医科歯科大学の教員が主担当を務める。(28)	
	4. 年間の研究指導計画や成績評価基準が不明確であるため、学生が十分に理解できるよう、あらかじめ十分な説明を行うこと。	留意事項	4. 学生の経験及び希望により柔軟な年間研究指導計画を個別に組むため、指導教員が、入学直後の学生との面談で年間の研究指導計画及び成績評価基準について詳細な説明を行った。(28)	

<p>5. 連携外国大学との調整を行う教員に関する業績等が明らかでないが、調整を行い得る十分な能力を持った者を配置し、連携外国大学との連絡調整に支障をきたすことのないよう十分な体制を構築すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>5. 本国際連携専攻の教育研究分野において十分な臨床経験を持ち、経験に裏付けられた専門的知識や技能を備え、学生の修学上における問題点を総括的に指導できる者を本学のチリ拠点に配置した。 当該調整教員は、平成15年3月に本学医学部医学科を卒業後、関連病院を経て、国立がん研究センターの消化管内視鏡科で内視鏡診断・治療に従事してきた。平成26年11月から本学のチリ拠点に着任し、チリ国を始めとする南米諸国の医師に日本式の内視鏡診断・治療技術並びにその知識を教授するチリ国保健省と連携して実施している「大腸がん早期発見プロジェクト」に携わっており、平成28年4月からは本専攻の調整教員として、チリ国におけるこれまでの活動経験や人脈を活かし、精力的に活動している。 異なる文化的・地理的・歴史的背景を持つ人々と親しい関係を築き、現地の生活も熟知していることから、生活面においても学生を支援できる能力を十分有している。 以上のことから、当該教員は、本国際連携専攻学生への指導や、チリ大学等の教員との連絡調整を行うために必要な能力を十分有していると考えている。(28)</p>	
<p>6. 協定書の締結に当たっては、申請書に示されている内容を確実に反映させること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>6. 学術委員会において協定書に則り、本プログラムを運営している。学術委員会は、TV会議を通じて月1回程度開催している。 (4/18に学術委員会を予定していたがチリの大雨のため5/9に延期。) (28)</p>	

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

東京医科歯科大学・チリ大学・CLC学術委員会名簿

任期：平成28年4月1日～

	氏名	身分	分野名
1	◎ 北川 昌伸	教授	包括病理学分野
2	東京医科歯科大学 河野 辰幸	教授	消化管外科学分野
3	植竹 宏之	教授	総合外科学分野
4	◎Miguel O`Ryan Gallardo	教授	感染症学
5	チリ大学 Mario Uribe	教授	消化器外科学腹腔鏡外科学肝臓外科学
6	Juan Pablo Torres Torretti	准教授	小児科学
7	Patricio Burdiles	アカデミック部門長	一般外科学消化器外科学腹腔鏡外科学
8	CLC Francisco López	大腸肛門科部長	大腸肛門外科学
9	Claudio Wainstein	助教	大腸肛門外科学

◎委員長

以上 9名

- ・東京医科歯科大学、チリ大学及びCLCから3名の教員（教授あるいは准教授（相当））を選出し、総員は9名
- ・少なくとも月1回以上のTV会議を行う。

TMDU • University of Chile • CLC
Member list of the Academic Committee

Term of membership : from 1/4/2015

Name		Position	Name of the department
1	©Masanobu KITAGAWA	Professor	Comprehensive Pathology
2	TMDU Tatsuyuki KAWANO	Professor	Gastrointestinal Surgery
3	Hiroyuki UETAKE	Professor	Specialized Surgeries
4	©Miguel O`Ryan Gallardo	Professor	Infectious Diseases
5	University of Chile Mario Uribe	Professor	Digestive Surgery Liver surgery Laparoscopic surgery
6	Juan Pablo Torres Torretti	Associate Professor	Pediatrics
7	Patricio Burdiles	Associate Professor	General surgery Digestive Surgery Laparoscopic surgery
8	CLC Francisco López	Associate Professor	Coloproctology
9	Claudio Wainstein	Assistant Professor	Coloproctology

©Chairperson

Total 9 persons

Notes;

- 3 members from each Institution. Total of 9 representatives.
- Conduct video conference once a month at least.

7 その他全般的事項

＜医歯学総合研究科 東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻＞

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 協定書</p> <p>1. Name of the Program Name of the course is “University of Chile and TMDU Joint Degree Doctoral Program in Medical Sciences with mention of a subspecialty” . (1. 専攻名 国際連携医学系専攻)</p> <p>26. Language The language used in this program is English. Spanish or Japanese is a requirement for clinical instruction. (26. 使用言語 英語とする。ただし、臨床教育はスペイン語又は日本語とする。)</p> <p>29. Requirements of Completion (1) In addition to completing the number of credits required by Japanese law and TMDU, students are required to complete the number of credits mandated by Chilean law and UCh. The required credits are listed in the attached document Annex 1. (2) To complete the JD program, students should attend 5 or more years; complete the required number of credits listed in Annex 1; receive necessary research guidance; submit a thesis; and pass a thesis defense and final examination. (29. 修了要件 (1) 修了にあたっては、日本の法令及びTMDU で規定された修得すべき単位数の修了要件を満たすほか、チリの法令及びUCh で規定された単位数の修了要件を満たさなければならない。なお、修得すべき最低単位数については別表1のとおりとする。 (2) JD プログラムを修了するためには、本専攻に5年以上在学し、所定の授業科目について前号の別表1に掲げる必要単位数以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。)</p> <p>31. Assessment of Performance (1) Grading of each course shall be conducted by the university where said course is implemented. Jointly operated courses shall be conducted by both universities jointly. (2) The teaching staff in charge of each course shall grade the course based on exam, report of research, etc. at the end of semester or academic year. (3) At TMDU, the performance of students shall be graded on a 5-point scale, namely 4, 3, 2, 1 and 0. Only students achieving one of the first four grades will be deemed to have passed the course. (4) At UCh, the performance of students shall be graded on a scale of 1.0~7.0, with students earning a score of 4.0 or higher passing the course. (5) The conversion of grading metrics between both universities is explained in Annex 2. (31. 成績評価 (1) 授業科目の評価は、その科目を開設する大学が行うものとする。ただし、両大学が共同で実施する科目については、両大学が共同で行うものとする。 (2) 各授業科目の評価は、試験又は研究報告等により、授業科目担当教員が学期末又は学年末に行う。 (3) TMDU における各授業科目の成績は、0 から4 までの5種の点数で評価され、「1」以上を合格とする。 (4) UCh における各授業科目の成績は、1.0 から7.0 までの点数で評価され、4.0 以上の点数を合格とする。 (5) 両大学における成績の換算については別表2のとおりとする。)</p>	<p>(変更内容)</p> <p>1. Name of the Program Name of the course is “University of Chile and TMDU Joint Degree Doctoral Program in Medical Sciences with mention of a medical specialty” . 1. 専攻名 国際連携医学系専攻</p> <p>26. Language The language used in this program is English and/or Spanish. Spanish is a requirement to obtain the clinical specialty in Chile and Japanese to obtain the clinical subspecialty in Japan. (26. 使用言語 英語あるいはスペイン語とする。ただし、チリにおける専門医の資格 (Specialty) を得るためにはスペイン語、日本におけるサブスペシャリティ領域専門医資格 (Subspecialty) を得るためには日本語を必要とする。)</p> <p>29. Requirements of Completion (1) In addition to completing the number of credits required by Japanese law and TMDU, students are required to complete the number of credits mandated by Chilean law and UCh. The required credits are specified separately by Memorandum of Agreement (hereinafter referred to as “MOA”). (2) To complete the JD program, students should attend 5 or more years; complete the required number of credits listed in MOA; receive necessary research guidance; submit a thesis; and pass a thesis defense and final examination. (29. 修了要件 (1) 修了にあたっては、日本の法令及びTMDUで規定された修得すべき単位数の修了要件を満たすほか、チリの法令及びUChで規定された単位数の修了要件を満たさなければならない。なお、修得すべき最低単位数については Memorandum of Agreement (以下MOA) で別に定める。 (2) JDプログラムを修了するためには、本専攻に5年以上在籍し、所定の授業科目について前号のMOAに掲げる必要単位数以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。)</p> <p>31. Assessment of Performance (1) Grading of each course shall be conducted by the university where said course is implemented. Jointly operated courses shall be conducted by both universities jointly. (2) The teaching staff in charge of each course shall grade the course based on exam, report of research, etc. at the end of semester or academic year. (3) At TMDU, the performance of students shall be graded on a 5-point scale, namely 4, 3, 2, 1 and 0. Only students achieving one of the first four grades will be deemed to have passed the course. (4) At UCh, the performance of students shall be graded on a scale of 1.0~7.0, with students earning a score of 4.0 or higher passing the course. (5) The conversion of grading metrics between both universities is specified separately by MOA. (31. 成績評価 (1) 授業科目の評価は、その科目を開設する大学が行うものとする。ただし、両大学が共同で実施する科目については、両大学が共同で行うものとする。 (2) 各授業科目の評価は、試験又は研究報告等により、授業科目担当教員が学期末又は学年末に行う。 (3) TMDU における各授業科目の成績は、0から4までの5種の点数で評価され、「1」以上を合格とする。 (4) UCh における各授業科目の成績は、1.0から7.0までの点数で評価され、4.0以上の点数を合格とする。 (5) 両大学における成績の換算については MOAに別に定めることとする。)</p>

<p>署名者 【東京医科歯科大学】 President Dr. Yasuyuki Yoshizawa Tokyo Medical and Dental University (TMDU) (学長 吉澤靖之 東京医科歯大学 (TMDU))</p> <p>Dean, Faculty of Medicine Dr. Yoshinobu Eishi Tokyo Medical and Dental University (TMDU) (医学部長 江石義信 東京医科歯大学 (TMDU))</p> <p>【チリ大学】 Rector Dr. Ennio Vivaldi University of Chile(UCh) (学長 Dr. Ennio Vivaldi チリ大学 (UCh))</p> <p>Dean, Faculty of Medicine Dr. Manuel Kukuljan University of Chile(UCh) (医学部長 Dr. Manuel Kukuljan チリ大学 (UCh))</p> <p>CEO Mr. Gonzalo Grebe Clinica Las Condes (CLC) (CEO Mr. Gonzalo Grebe クリニカラスコンデス (CLC))</p> <p>Academic Director Dr. Patricio Burdiles Clinica Las Condes (CLC) (アカデミックディレクター Dr. Patricio Burdiles クリニカラスコンデス (CLC))</p>	<p>署名者 【東京医科歯科大学】 Dr. Yasuyuki Yoshizawa President Tokyo Medical and Dental University (TMDU) (学長 吉澤靖之 東京医科歯大学 (TMDU))</p> <p>Dr. Yoshinobu Eishi Dean, Faculty of Medicine Tokyo Medical and Dental University (TMDU) (医学部長 江石義信 東京医科歯大学 (TMDU))</p> <p>【チリ大学】 Dr. Ennio Vivaldi Rector University of Chile(UCh) (学長 Dr. Ennio Vivaldi チリ大学 (UCh))</p> <p>Dr. Manuel Kukuljan Dean, Faculty of Medicine University of Chile(UCh) (医学部長 Dr. Manuel Kukuljan チリ大学 (UCh))</p> <p>Mr. Gonzalo Grebe CEO Clinica Las Condes (CLC) (CEO Mr. Gonzalo Grebe クリニカラスコンデス (CLC))</p> <p>Dr. Juan Pablo Torres Research Director Clinica Las Condes (CLC) (リサーチディレクター Dr. Juan Pablo Torres クリニカラスコンデス (CLC))</p>
<p>② 協議の場</p> <p>個々の大学院生に対する日常の学術活動の調整は、東京医科歯科大学、チリ大学およびCLC から少なくとも1名以上の教員（教授あるいは准教授（相当））よりなる学術委員会（総員5名以上）が行う。少なくとも1ヶ月に1度のテレビ会議システムを通じてきめ細やかな指導体制を構築する。</p>	<p>【実施状況】 4/18に予定されていたが、チリでの大雨の影響により開催を延期した。</p> <p>第1回 5月9日（月）20時～</p> <p>【議題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前回議事要旨について 2. 設置計画履行状況報告書等について 3. 単位について 4. MOUについて 5. 知的財産権について 6. 学生の指導について 7. その他

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 大学設置基準第51条2項に規定されている携外国大学との「協議の場」について、実施状況（開催日・議題等）を記載してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

東京医科歯科大学及びチリ大学合同の学術委員会で行う予定である。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

毎月1回開催する予定であり、平成28年度第1回学術委員会は5月9日に開催した。

c 委員会の審議事項等

- (1) 入学者選抜に関する事項
- (2) 学生の身分（在籍の管理）及び安全に関する事項
- (3) 学生の奨学及び厚生補導に関する事項
- (4) カリキュラムの編成及び実施に関する事項
- (5) 教育組織の編成に関する事項
- (6) 成績評価の方針に関する事項
- (7) 研究指導教員の選定に係る事項
- (8) 評価試験委員会の設置に関する事項
- (9) 学位授与及び課程修了に関する事項
- (10) 教育研究活動等の状況の評価に関する事項
- (11) その他両大学が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

開講初年度のため現在未決定ではあるが、各専門分野の教員が最先端の知識を全教員にフィードバックする予定である。

b 実施方法

テレビ会議システムの使用または訪問、招聘による実施方法を検討している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

開講初年度のため、来年度以降実施する予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

開講初年度のため、来年度以降実施する予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

今年度末に学生に対して実施予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学術委員会等において審議・報告する予定である。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設初年度のため今年度は実施できないが、来年度以降毎年度学術委員会で自己点検・評価を行う予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成29年度実施後速やかに公表する

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・東京医科歯科大学における認証評価は平成32年度までに審査を受ける予定である。またチリ大学においては本専攻は既存プログラムであるチリ大学大学院メディカルサイエンスプログラムに組み込まれており、今年度当該プログラムは外部機関による認証評価を受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(28年 6月頃予定)